

# あいち防災通信

第15号

●発行●  
愛知県・あいち防災協働社会推進協議会



全国で災害が頻発しています。  
日頃から災害への備えを進めましょう。

## 大阪府北部を震源とする地震

6月18日の朝の通勤・通学時間帯に大阪府北部で震度6弱の地震が発生しました。交通機関が麻痺したことによる帰宅困難者やエレベータの緊急停止による閉じ込めなど大都市特有の被害が発生しました。また、ブロック塀の崩落や本棚の下敷きにより死者も発生しました。

### 地震の概要

発生日時 平成30年6月18日 午前7時58分頃  
地震の規模 マグニチュード6.1(暫定値)  
最大震度 震度6弱 大阪府大阪市(北区)、高槻市、茨木市、箕面市、枚方市  
被害状況 人的被害 死者6人、負傷者443人  
住家被害 全壊18棟、半壊517棟、一部破損57,787棟

出典:消防庁発表資料「大阪府北部を震源とする地震による被害及び消防機関等の対応状況(第30報)」



地震後の室内の様子(提供:株式会社関西ばど)

## 平成30年7月豪雨



広島県東広島市の被災状況

6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で豪雨が発生しました。6月28日から7月8日までの総降水量が四国地方で1,800ミリ、東海地方で1,200ミリを超え、7月の月降水量平年値の2~4倍となるところがありました。この大雨について、岐阜県、京都府、兵庫県、岡山県、鳥取県、広島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県の1府10県に特別警報が発表されました。

### 被害状況

人的被害 死者224人、行方不明者8人、負傷者428人  
住家被害 全壊6,758棟、半壊10,873棟、一部破損3,829棟

出典:消防庁発表資料「平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況及び消防機関等の対応状況(第58報)」

## 台風第21号・第24号

台風第21号は、9月4日正午頃、非常に強い勢力で徳島県に上陸した後、速度を上げながら近畿地方を縦断し、日本海を北上しました。西日本から北日本にかけて非常に強い風が吹き、非常に激しい雨が降りました。特に、四国や近畿地方では、猛烈な風が吹き、猛烈な雨が降ったほか、これまでの観測記録を更新する記録的な高潮となりました。また、愛知県では人的・住家被害に加え、多大な農業被害が発生したほか、尾張地方を中心に延べ約30万戸が停電しました。

### 被害状況

台風21号 人的被害 死者14人、負傷者954人  
住家被害 全壊26棟、半壊189棟、一部破損50,083棟

出典:消防庁発表資料「平成30年台風第21号による被害及び消防機関等の対応状況(第8報)」

台風第24号は、非常に強い勢力を維持したまま、9月30日午後8時頃和歌山県に上陸し、その後、近畿、東海、関東、東北地方を縦断しました。暴風、高波、大雨、高潮が発生し、日本全域にわたり大きな被害が発生しました。また、愛知県では人的・住家被害に加え、多大な農業被害が発生したほか、東三河地方を中心に延べ約27万戸が停電しました。

### 被害状況

台風24号 人的被害 死者4人、負傷者213人  
住家被害 全壊39棟、半壊197棟、一部破損4,396棟

出典:消防庁発表資料「平成30年台風第24号による被害及び消防機関等の対応状況(第9報)」



台風第21号による臨港道路(大阪市)の浸水の様子

## 北海道胆振東部地震



札幌市内の液状化の様子(提供:札幌市役所)

9月6日に北海道胆振地方中東部で震度7の地震が発生しました。厚真町を中心に広い範囲で土砂崩れが発生するとともに、札幌市などでは道路の隆起や陥没、家屋が傾くなどの液状化現象が発生しました。また、苫東厚真火力発電所の被災がきっかけとなり、北海道のほぼ全域で電力が止まる「ブラックアウト」が起きました。

### 地震の概要

発生日時 平成30年9月6日 午前3時7分  
地震の規模 マグニチュード6.7(暫定値)  
最大震度 震度7 厚真町  
被害状況 人的被害 死者41人、負傷者749人  
住家被害 全壊415棟、半壊1,346棟、一部破損8,607棟

出典:消防庁発表資料「北海道胆振東部地震による被害及び消防機関等の対応状況(第33報)」



## 家具等の転倒防止対策

大阪府北部を震源とする地震の教訓から

大阪府北部を震源とする地震では、ブロック塀の崩落や本棚の下敷きによる死亡者がありました。愛知県では、市町村、建築関係団体、地域防災組織等と連携し、民間建築物のブロック塀等を対象に安全点検に係るパトロールを行い、危険なブロック塀等を減らす取組を進めています。地震発生後にはブロック塀等の崩落のおそれのあるものに近づかないよう注意してください。

また、家具等の転倒防止対策は、身近に取り組むことができ、効果の高い対策です。家具の転倒・落下によってケガをしたり、倒れた家具で出入口をふさいで避難できなくならないように、日頃から家具の固定や、配置を工夫して地震に備えましょう。愛知県では、家具等転倒防止対策推進事業として以下の取組を進めておりますので、是非御活用ください。

### 愛知県家具固定相談窓口を設置し、家具固定に関する相談を受付中!

愛知県防災局防災危機管理課内に家具固定に関する相談窓口を設置しています。家具固定について疑問点などがありましたら、以下の相談窓口へお電話、FAX又はEメールでお問合せください。

●愛知県家具固定相談窓口●

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
愛知県防災局防災危機管理課啓発グループ(本庁舎2階北側)  
電話:052-954-6700(ダイヤルイン)  
月～金 午前9時から午後5時15分まで  
(土、日、国民の祝日等の休日及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く。)  
FAX:052-954-6911  
Eメール:bosai@pref.aichi.lg.jp

●主な相談内容●

- ・自主防災会等を対象とした講習会等への家具固定推進員の派遣相談
- ・家具固定の方法や器具の紹介
- ・家具固定器具取付け支援制度の紹介 など



### 平成31年度も引き続き愛知県家具固定推進員の派遣を実施予定

家具固定推進員(家具等転倒防止対策を推進するボランティア)を地域の講習会やイベント、防災訓練等に派遣し、家具固定器具の取付実演や啓発活動を実施しています。

家具固定推進員の詳しい内容や派遣申込みについては、左記の「愛知県家具固定相談窓口」までお問合せいただくか、以下のWebページを御確認ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/bosai/h31kagukoteisuis hininhaken.html>



### 愛知県防災教育センター体験講習会開催中

愛知県消防学校(尾張旭市)の防災教育センターにおいて、県民の皆様からの申請に基づき、家具固定器具取付・ガラス飛散防止フィルム貼り体験講習会始め、3つの体験講習会を開催しています。

●体験講習会の内容●

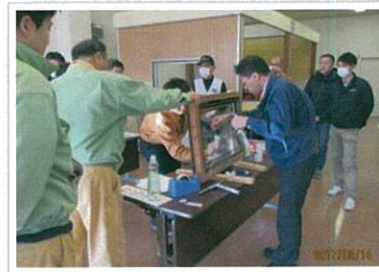
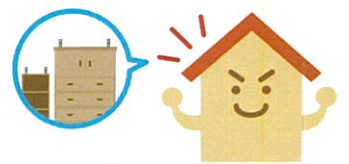
- ・家具固定器具取付・ガラス飛散防止フィルム貼り(所要時間:2～3時間)
- ・避難所運営ゲーム(HUG)(所要時間:2時間)
- ・災害図上訓練(DIG)(所要時間:2～3時間)

体験講習会の詳しい内容や体験申込みについては、愛知県防災局防災危機管理課(電話052-954-6190)までお問合せいただくか、以下のWebページを御確認ください。

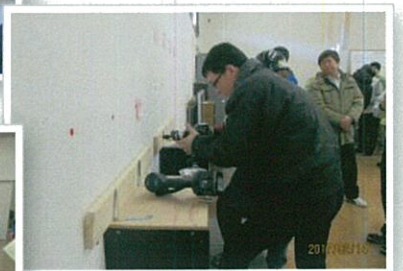
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/bosai/bousaikyouikusen ta30.html>



家具固定の概要説明



ガラス飛散防止フィルム貼り体験



電動ドライバーを使って壁に機木を取付

### 民間事業者と連携した家具固定推進イベント等での啓発活動

ショッピングセンターやハウジングセンター等で家具等転倒防止グッズや啓発チラシの配布、家具固定の実演・相談等を実施しています。また、保険会社や生活協同組合等に御協力いただき、啓発チラシを配布しています。

高いビルを長時間にわたって大きく揺らす

## 長/周/期/地/震/動/の被害を防ぎましょう

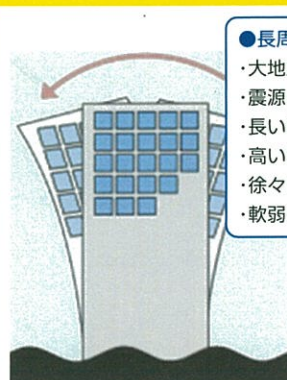
大きな地震では、長周期地震動という通常の地震よりゆっくりとした揺れが発生します。長周期地震動の影響で、震源から遠く離れた場所でも高いビルでは、建物被害やエレベータ閉じ込め事故の他、天井落下、家具移動などによる負傷のおそれがあります。平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震では、震源から遠い東京や大阪でも被害がありました。

普段からの長周期地震動への対策は、通常の地震対策と同じです。可能な限り、家具等の固定を図りましょう。

高いビルで大地震の発生を知った場合は、家具が倒れてこない、照明等が落ちてこない、キャスター付きの家具類等が移動してこない空間で身の安全を確保しましょう。

気象庁ホームページでは、長周期地震動について詳しく解説しています(解説ビデオや、長周期地震動階級(揺れの大きさの目安)の解説、「長周期地震動に関する観測情報」などを掲載)。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/choshuki/index.html>



出典:気象庁ホームページ

- 長周期地震動の特徴
- ・大地震ほど発生しやすい。
  - ・震源から遠くでも揺れる。
  - ・長い時間揺れる。
  - ・高い階ほど揺れが大きい。
  - ・徐々に揺れが大きくなる。
  - ・軟弱な地盤で増幅する。

普段からの対策



家具類等の固定を!

着脱式ベルト

キャスターをロック

出典:気象庁リーフレット

# ハザードマップで地域の災害リスクを確認

平成30年7月豪雨の教訓から

今すぐやろう！

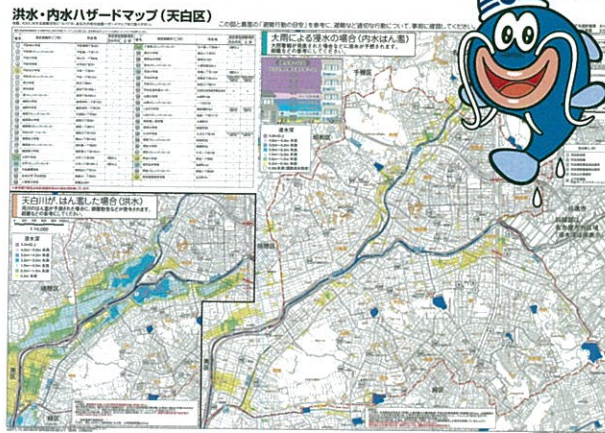
平成30年7月豪雨では、ハザードマップで浸水地域と想定されていたにもかかわらず、避難の遅れによる死者が多数発生した地域がありました。自宅や職場の地域にどんな災害リスクがあるのかを市町村等が発行するハザードマップで確認しておきましょう。また、安全に避難できるように避難場所や避難経路を事前に確認しておき、危険を感じたら早めに避難しましょう。

国土交通省ハザードマップポータルサイト[国土交通省] <https://disaportal.gsi.go.jp/>

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。また、洪水・土砂災害等のリスク情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

愛知県洪水浸水想定区域図[愛知県] <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuisoutei.html>

愛知県が管理する洪水予報河川(新川、天白川等)及び水位周知河川(乙川、梅田川等)が氾濫した場合に浸水が想定される区域を表示しています。



名古屋市天白区 洪水・内水ハザードマップ

# 高潮災害に対する備え

台風第21号・第24号の教訓から

高潮災害は、台風の接近に伴って発生することが多く、海面が異常に上昇する災害です。台風第21号では、これまでの観測記録を更新する記録的な高潮となりました。愛知県においても海岸のゼロメートル地帯などは、高潮による浸水被害を被る危険性が高く、特に注意が必要です。今年で発災から60年となる昭和34年の伊勢湾台風では、名古屋市南部や海部・知多地域などで激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水が起こり、死者・行方不明者約3,300名に達する大災害となりました。自宅や職場の地域に高潮災害のリスクがあるのかをハザードマップ等で確認しておきましょう。また、避難場所や避難経路を事前に確認しておき、危険を感じたら早めに避難しましょう。

### 気圧低下による吸い上げ効果

台風は中心気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用し、海面が上昇します。(気圧が1hPa低くなると海面は約1cm上昇)



### 風による吹き寄せ効果

台風による強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に引き寄せられて海面が上昇します。



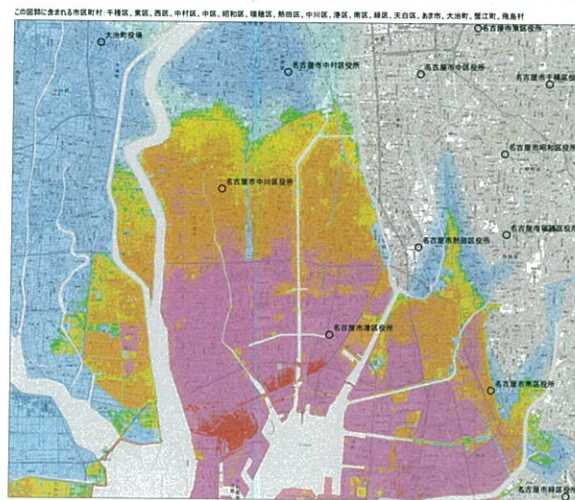
### 高潮災害に対する心得

#### 日頃からの備え

- ・自宅や勤務地などの高潮危険度の把握
- ・過去に被害がないかどうかを含めて把握しておきましょう。
- ・避難場所や避難経路の確認
- ・自治体提供の防災情報をチェックし、避難場所や避難経路をあらかじめ確認しておきましょう。

#### 危険を感じたら早めに避難を

- ・風雨の状況、自分と一緒に逃げる人の体力、避難時間などを考え、早めに避難しましょう。
- ・避難の際には、気象庁の発表する台風などの気象情報や、市町村の発表する避難情報などを入手するよう心がけましょう。



愛知県高潮浸水想定

# 液状化危険度の確認

北海道胆振東部地震の教訓から

ゆるく堆積した砂の地盤に、強い地震動が加わることにより、地層自体が液体状になる現象を「液状化現象」といいます。北海道胆振東部地震では、液状化現象により建物が傾いたり、泥水が噴出したりする被害が発生しました。液状化現象は、地下水位の高い緩く堆積した砂地盤などで、例えば、埋立地、干拓地、昔の河道を埋めた土地で発生しやすいと言われています。

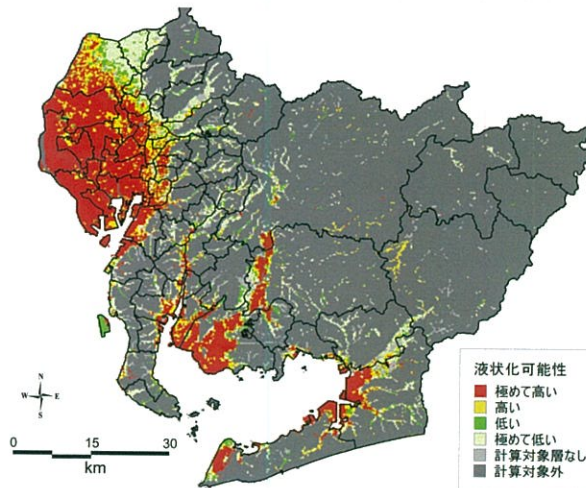
愛知県においても、濃尾平野、岡崎平野、豊橋平野を中心に、平野部及び河川沿いに液状化の可能性が極めて高いエリアが広がっています。愛知県防災学習システムでは、自宅や会社の住所を入力することにより、簡単に液状化の危険度が確認できます。是非活用してください。

愛知県防災学習システム[愛知県] <http://www.quake-learning.pref.aichi.jp/>

愛知県による南海トラフ地震の被害想定

(震度分布、液状化危険度、津波到達時間、津波波高、浸水深等)

※愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果(平成26年5月)



過去地震最大モデルによる「液状化分布」

# 防災人材育成研修「防災・減災カレッジ」

# 開催報告

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、あいち防災協働社会推進協議会の主催で平成24年度から実施してきた防災人材育成研修「防災・減災カレッジ」については、平成30年度からあいち・なごや強靱化共創センター(※)が主催者に加わり、連携して開催しました。

平成31年度も防災人材の育成を引き続き推進していくため、周知時期の前倒し(4月中下旬)、講義資料の充実(カラー)、運営体制の強化等、受講料改正(1日あたり2,000円)などの見直しを行い開催する予定です。皆様の積極的な御参加をお待ちしています。

なお、平成31年度の詳細は、4月中下旬に掲載するWebページ(<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/college.html>)を御確認ください。

※あいち・なごや強靱化共創センター

愛知県、名古屋市、名古屋大学が、産業界と共に、大規模災害発生時においても、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会・経済活動が維持されるための研究開発や事業を、産学官が戦略的に推進するため、平成29年6月に設立。



防災基礎研修「防災概論」



企業防災コース「ワークショップ」



地域防災コース  
災害図上訓練(DIG)演習



防災VCoコース  
災害ボランティアセンター設置・運営体験

## あいち防災フェスタ

防災協働社会の連携を推進するとともに、家具等の転倒防止対策や防災ボランティア活動への理解の促進を図るため、あいち地震防災の日(11月第2日曜日)である11月11日(日)に「あいち防災フェスタ」を愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で開催しました。

開会式では、徳川家康と服部半蔵忍者隊による演武や、防災活動に積極的に取り組み、地域防災力の向上に貢献した自主防災組織・企業・高校の計8団体に対して、防災貢献団体表彰を行いました。

開会式終了後、瀬戸市消防団応援サポーター佐藤梓さんと瀬戸ひなご幼稚園園児によるライブ、子ども向けヒーローショー、瀬戸市立效範小学校バトン部による演技などのステージイベントを行いました。

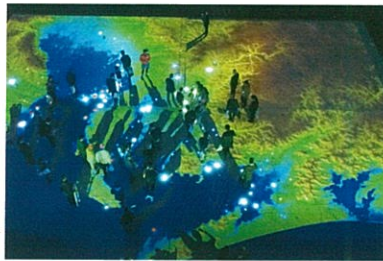
また、会場内では、愛知県防災ヘリ「わかしゃち」による救助訓練、愛知県の巨大地図を使用したプロジェクションマッピング、家具が転倒する様子をVRで再現した地震体験車「なます号」による地震体験、防災・災害関係車両の展示、家具固定の相談窓口など防災に関わる様々なブース出展などが実施されました。好天に恵まれ、お子様から御年輩の方まで約6,500名の方に御来場いただきました。



大村知事挨拶



愛知県防災ヘリ「わかしゃち」



巨大地図  
プロジェクションマッピング



地震体験車「なます号」

## 平成30年度愛知県防災貢献団体表彰受賞団体の紹介

愛知県防災貢献団体表彰とは、地域社会に活動基盤を持つ自主防災組織や企業などの中から、優れた工夫・アイデアを防災活動に取り入れるなど防災対策の充実や防災意識の高揚に積極的に取り組んでいる団体を表彰するものです。

### 岩根自主防災会 (日進市)

「防災だより」を地区内全戸に年4回配布し、災害への備えを呼びかけています。また、防災ソング「岩根防災の歌」や「無事なら白いタオル掛け運動」など、メニューに工夫を凝らした防災訓練を実施しています。

### 昭和区ホーム・ファイヤー・モニターズ・クラブ連合会(名古屋市)

防火防災キャンペーン、親子の災害体験教室などの普及啓発活動を実施しています。また、消防出初式や区民まつりなどに積極的に参加協力し、地域住民の防災意識の向上に努めています。

### 新栄小学校区 自主防災会(豊山町)

防災勉強会を開催し、自主防災会役員の能力向上を図っています。また、毎年、初期消火、負傷者搬送、AED操作などの防災訓練を実施し、地域住民の防災意識の向上を図っています。

### 武豊町防災ボランティアの会 (武豊町)

防災学習や避難訓練等を保育園から高等学校まで継続して行う「パッケージ化した防災学習」を実施しています。また、行政と協働し、保育園、小中学校の避難経路の作成や学校防災計画の作成を補助しています。

### 津島市神守小学校区 自主防災会(津島市)

市主催のシンポジウムや各種講習会に積極的に参加し、地域の自助・共助の意識向上に努めています。また、ハザードマップの作成のため地域の危険箇所を探索したり、暑い時期を想定した防災訓練等を実施しています。

### 二本木連合町内会 自主防災会(安城市)

6つの町内会が近隣企業と連携し、安否確認や搬送等の基礎的な訓練に加え、市が重点課題と位置付けている訓練(例:家具転倒防止、資機材取扱、車いすなど)にも積極的に取り組んでいます。

### 神原工業株式会社 (西尾市)

工場屋上に落下防止柵を設置し、地域の津波一時避難場所としています。また、安否確認システム(きずなネット)を導入し、毎月訓練を実施し、社員の防災意識の向上を図っています。

### 学校法人桜丘学園 桜丘高等学校(豊橋市)

豊橋駅前での募金活動など、災害を風化させないための活動を継続して実施しています。また、在校生だけでなく、教員、保護者、OBも参加するなど学校全体で防災活動に取り組んでいます。

参考になる  
防災活動が  
たくさんあるね。



## 防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧される中、想定外の大災害に立ち向かうには、地域のあらゆる主体がお互いに顔の見える関係を構築し、地域が一体となって災害に対応することが必要です。

そこで、防災人材交流シンポジウム実行委員会(※)主催により、防災・減災活動に従事している方々や地域団体、NPO・ボランティア団体、大学生、社会福祉協議会職員、行政職員等が一堂に会し、災害時にお互いに協力し合えるよう絆をつなぎ、強化するとともに、一般の方々といっしょに地域防災力の向上を図るため、防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」を10月8日(月・祝)に開催しました。

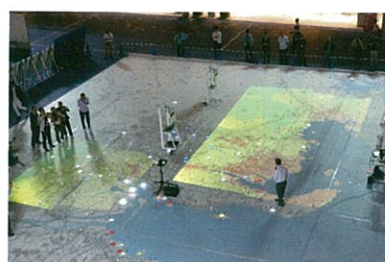
メイン会場(オアシス21「銀河の広場」)では、東日本大震災と熊本地震の2つの大災害を経験された、歌うママ防災士 柳原志保氏の基調講演をはじめ、愛知県の巨大地図を使ったプロジェクションマッピングや、優秀者に被災地の特産品をプレゼントする防災・減災クイズ大会などを開催しました。また、サブ会場(名古屋栄ビルディング)では、「防災人材大集合 分科会」と題して、「防災の担い手を増やすには」をテーマに大討論会を開催しました。両会場合わせて、約6,000名の方に御参加いただきました。

※防災人材交流シンポジウム実行委員会構成団体

名古屋大学、愛知県、名古屋市、認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、あいち防災リーダー会、特定非営利活動法人あいち防災リーダー育成支援ネット、なごや防災ボラネット、特定非営利活動法人耐震化アドバイザー協議会、あいち・なごや強靱化共創センター



歌うママ防災士の基調講演



愛知県巨大地図  
プロジェクションマッピング



防災・減災クイズ大会



防災人材大集合 分科会